

まち歩きが観光を変える

長崎さるく博プロデューサー・ノート



茶谷幸治著

四六判・192頁・定価 1680円（本体 1600円）

2008.2.10 初版発行

内容紹介

10年間で1割以上落ち込んだ観光客数を底上げするために企画された市民主体の地域活性化イベント「長崎さるく博」。この日本初のまち歩き博覧会は、1000万人以上の参加者を集め、3万人近い市民関わった。その構想から実施までを、イベントプロデューサーという役割でいかに実現し、市民力を高めるに至ったのかを克明に語る。

著者の紹介

茶谷幸治 [ちゃたに こうじ]

<プロフィール>

1946年、大阪生まれ。早稲田大学卒業後、(株)電通入社。1981年、電通退社後、(株)経営企画センター設立。

「アーバンリゾートフェア神戸'93」チーフプロデューサー、

「ジャパンエキスポ世界リゾート博」催事プロデューサー、

「ジャパンエキスポ南紀熊野体験博」総合プロデューサー、

「しまなみ海道'99」総合プロデューサー。

2002～03年(社)日本観光協会都市観光活性化会議委員

2003年(社)ひょうごツーリズム協会ツーリズムプロデューサー

2004～06年「長崎さるく博 06」コーディネートプロデューサーを務める。

現在、プロデューサー(イベント/ツーリズム/マーケティング)、関西学院大学社会学部非常勤講師、(財)兵庫県園芸公園協会理事。